

海外出張

野瀬 隆平

イタリアのある町でのこと。駅に来てみたが、人影がまばらでどうも様子がおかしい。駅員とおぼしき人にたどたどしいイタリア語で尋ねてみると、「オジ・ショッペロ」という。

オジは今日であるが、肝心のショッペロが解らない。怪訝な顔をしていると、何度も「ショッペロ」と両手を広げて繰り返すだけ。どうも「ストライキ」らしい。

ヴェネツィアに近いメストレにある造船所に、技術指導をする商談があり、交渉のため何人かの同僚と出張して来ている。今日はお休みなので、どこかへ遊びに行こうと、駅までやって来たのである。

契約の内容が多岐にわたることもあって交渉が長引いており、滞在はもう一か月を過ぎている。ホテルは快適だし近くに観光地があるので、あまり苦にはならない。問題は食事だ。イタリア料理も悪くないが、こう毎日が続くと日本料理が恋しくなる。いや贅沢はいわぬ中華料理でもよい。

その当時、海外には日本料理屋は少ないが、中華料理店は捜せばどこかにあることを経験上知っていた。イタリアのこの町でもそうだった。やっと見つけた店で、メニューを見るだけでも嬉しくなる。中国語とイタリア語で書かれていて完全には解らないが、「焼きそば」と思われるものを注文した。

やがて、それらしき料理が出てきたが、食べて見ると「麺」は中華麺ではなくスパゲッティであった。それでも、醤油の味がして多少の満足は得られた。

名だたる観光地のヴェネツィアの近くに、工場が多く建ちならぶメストレがあるのは、異様な感じがするが、二つの街は海で隔離されている。長い橋を渡ると、いきなり別世界が展開するので、いやがうえにもヴェネツィア独特の雰囲気を実感させる。

交渉が長期にわたるに従い、幸か不幸か何度も訪ねることとなり、島の中は勿論のこと、ガラスで有名なムラノ島や、リド島にまで足を伸ばした。

リド島にはゴルフ場があり、ヴェネツィアでゴルフをしたというのも、今や懐かしい思い出となっている。

注：ショッペロ = sciopero = ストライキ